

沼川でカメラ 新しい景色を発見

吉原二丁目の川島泰彦さんは十三人の仲間と「フジ・カメライストラクラブ」を結成し、沼川でカナディアンカメラを楽しんでいます。コースは満潮時に国一バイパスの下付近から上流までを往復します。水面を走る爽快さはもちろんですが、ふだん陸から見る光景とはまったく違った景色に出くわすという発見もあります。上流では船底にぶつかるほどの魚も。カメラに挑戦したい人は川島さんへ ☎ 五二一四〇〇三。



川島泰彦さん



△市内で第8番目の駅となった新富士駅

JRの駅が8駅

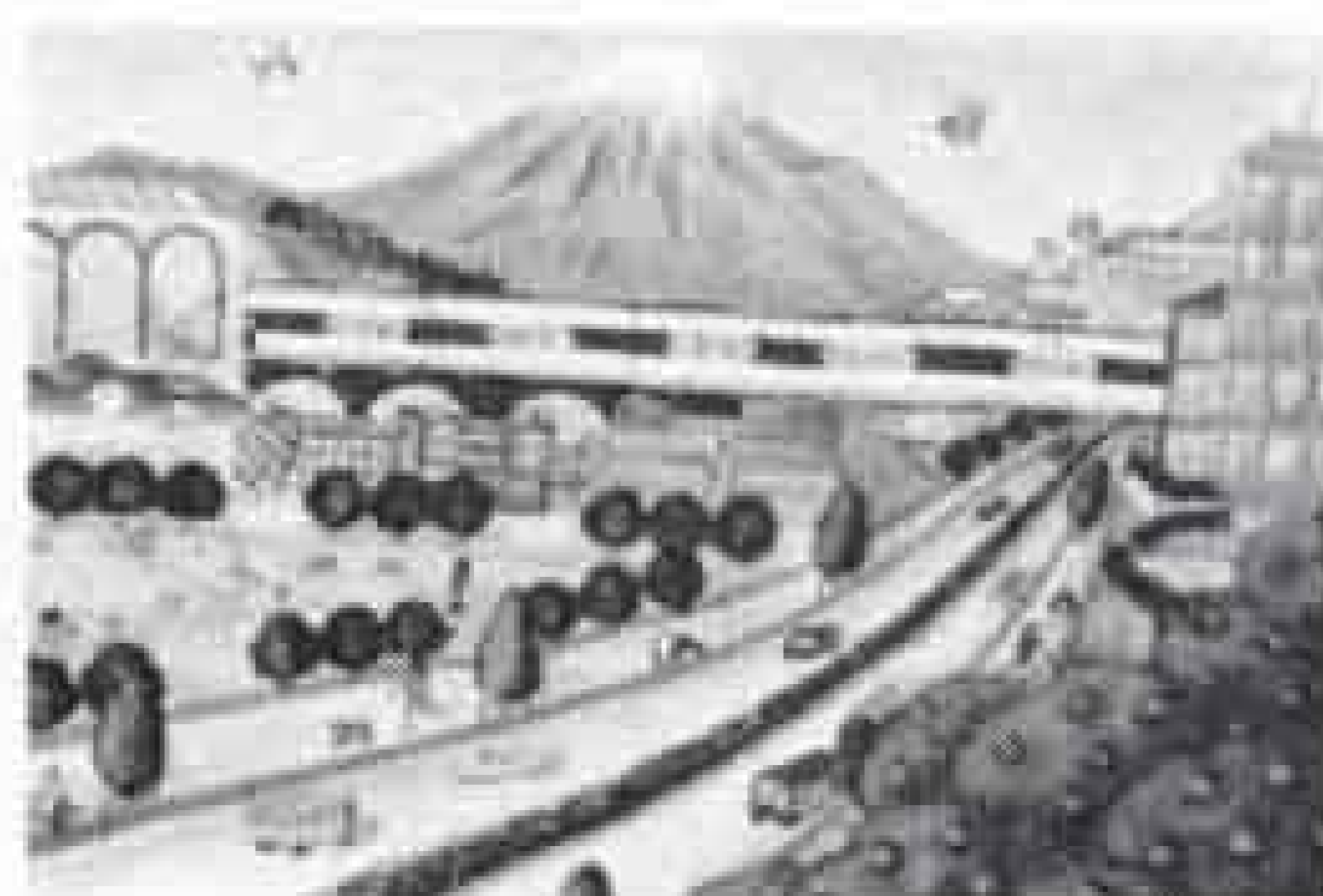
富士市にはJRの駅が8駅あり、JRの駅の数は一都一県下です。

本年3月13日に開業した東海道新幹線の新富士駅を初め、東海道線に富士駅、吉原駅、東田子の浦駅の3駅、身延線に柚木駅、豎堀駅、入山瀬駅、富士根駅の4駅で、計8駅あります。

新富士駅は富士市の新しい玄関口となりました。一日の乗降客はJRの当初予想を上回る約1万人で、新しい人の流れが生まれています。

また、鉄道に関するユニークな記録としては、岳南鉄道の本吉原駅と吉原本町駅の距離がわずか300mと極めて短いことがあげられます。この長さは、全国的に見てもまれです。

稲岡文子さん



吉原一中の稲岡文子さん まちづくり絵画展で市長賞

吉原第一中学校一年生の稲岡文子さんは、まちづくり絵画展で市長賞を受賞しました。

この絵画展は二十一世紀に主役となる小・中学生に未来のまちをかいてもらったものです。稲岡さんは美術部に所属し、部活動で一カ月ぐらいかけてかき上げました。「富士市にはもっととビルが建ててほしいけど、東京の様になってしまつては困る。緑がたくさんあって、人々が暮らしやすいまちになってほしい」と考えてかかれた作品は、大変見事です。

ダンスで若い知らず

中島下の老人会の皆さん

白樺、青空、南風...音楽に合わせて軽やかにダンスを楽しむのは、中島下の老人会の皆さん。

ダンスは六十一年に会長の細野さん夫婦が習ってきってから広まり、毎週金曜日に地域の公会堂で行われています。北国の春や知床旅情などレパートリーは現在七曲。気分転換やボケの防止になるのはもちろん、運動神経が刺激され、交通事故防止にも役立っています。



足取りも軽く...



ハイテクトマト一家

影山信義さん一家(岩本)

岩本山公園近くの茶畑の一角に、銀色に光る六棟のハウスが目に入ります。これが日本で初めてのハイテクトマト団地。今回は家族でトマトをつくっている、この団地の組合長影山信義さん一家におじゃましました。

ハウスに一步入ると人の背丈より成長したトマトがズラリ。あたりには忘れかけていたトマトのにおいが立ち込めています。

このハウスがハイテクと呼ばれる理由は、苗床にロックウールという建築材を使用した養液栽培であることと、空調や養液管理をコンピュータで行っていることです。信義さんは昭和三十七年に全国に先がけ礫耕栽培に取り組み、六十年からロックウール栽培に挑戦しました。そうした二十六年間のデータをもとに、コンピュータのプログラムをつくりました。しかし、農業は自然が相手。コンピュータといえども万能ではありません。「トマトに話しかけ、人間の力で二〇%の補正が必要だね」と達人の境地を語ります。

また、信義さんが「私の分身」というのが奥さんのしず子さん。養液栽培を陰で支え、家事を受け持っていました。今は家事は長女早苗さんが引き受けています。影山さんちの楽しみな話題は、浩信さんのお嫁さん。やっぱり、トマトの好きな女性がぴったりなんでしょうね。

長男の浩信さんは短大で農業を学びましたが、「授業よりレベルの高い農業を実践していた」家



◁左から信義さん、浩信さん、しず子さん、早苗さん